

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状		目標										実績										スマート農業推進特		地域(県又は国を含む)の価格(販売単価)		補正係数	価格補正後の実績	事後評価の検証方法が可能なこと。	達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考	
						年度	面積	生産量又は価格(販売単価)		生産コスト		年度	面積	生産量又は価格(販売単価)		生産コスト		年度	面積	生産量又は価格(販売単価)		生産コスト		年度	面積	生産量又は価格(販売単価)		生産コスト		導入・定着の取組の実施内容	事業実施前年度								目標年度
								単位	出荷量	単位	単位			単位	単位	出荷量	単位			単位	単位	単位	出荷量			単位	単位	単位	単位										
北上市農業再生協議会	1	花巻市、北上市、西和賀町、遠野市、釜石市、大槌町	露地野菜(アスパラガス)	アスパラガス産地の形成の推進 ① 水稲から露地野菜(アスパラガス)への作付転換の取組 ② 面積拡大に伴う生産増加に対応した集出荷施設(運来ライン)の整備 ③ 離職指導会や茎枯病・斑点病等の防除の徹底による単収向上の取組	販売額の10%以上の増加(16.0%の増加)	H21	152千円/10a	124 ha	212,040 kg	986 円/kg	-	R 2	177千円/10a	165 ha	288,750 kg	1,015 円/kg	-	R 2	125千円/10a	124 ha	146,010 kg	1,067 円/kg	-	R 2	125千円/10a	124 ha	146,010 kg	1,067 円/kg	-	1,169 円/kg	1,146 円/kg	1.02	128千円/10a	以下について、花巻農業協同組合の販売実績等【現状(H21)】152千円/10a(124ha、17kg/10a、986円/kg)、水稲103千円/10a(21ha、53kg/10a、192円/kg)【目標値(H22)】177千円/10aアスパラガス177千円/10a(165ha、175kg/10a、1,015円/kg)	平成29年の茎枯病の影響から株の養成が不足し、株の枯死が目立ち収量が上がらなかった。すでに病害発生防止のため簡易雨よけ設置を推進しているが、引き続く豪雨被害を増加させていく。また茎枯病対策として、立派初期における薬剤等による重点防除の実施を推奨するとともに、令和4年度から防除機導入に係る助成を産協独自で実施し作付けの支援を行う。	取組を支援してきたものの、気象や病害の影響により目標達成に至らなかった。今後も、関係機関が一丸となって病害対策等に取り組み、早期目標達成に向け支援していく。	R3評価		
奥州市農業再生協議会	2	奥州市・金ヶ崎	ピーマン	①計画的な施設導入及びピーマンのトンネル栽培の普及を推進し、長期安定出荷と単位面積当たりの収量の確保を図る。 ②若い手確保に向け、地域内の定住地域の集約取組による施設面積の確保を図る。 ③さらなるピーマンのブランド化に向け、栽培課題に合わせた栽培方法の普及・徹底。 ④生体選別機による農産物の選別・選別機による選別の推進し、作業負担軽減を図る。また、選別機導入による選別率の向上により、販売額10%以上の増加を実現する。	販売額の10%以上の増加(20.5%増)	H21	442,837千円	28.2 ha	1,353.6 t	327 円/kg	-	R 2	533,664千円	31 ha	1,530 t	348.8 円/kg	-	R 2	810,888千円	37.6 ha	1,696.3 t	478 円/kg	-	R 2	810,888千円	37.6 ha	1,696.3 t	478 円/kg	-	459 円/kg	556 円/kg	0.826	668,342千円	(1) 現状値 442,837千円 (2) 目標値 目標販売数量 × 1,530円 目標販売単価(平均) 348.8円/kg 算出方法: 目標販売数量 × 目標販売単価 (3) 検証方法 販売実績により、検証・評価を行う。	・取組主体は、目標達成に向け計画に則した進捗で取組を行うことができており、目標の販売額の増加割合を大幅に上回った。 ・集出荷施設導入により、生産者の選別の手間を無くし、栽培管理に力を入れ、出荷量の増加につながった。 ・上記の効果を周知しながら作付推進活動を行ったことにより、新規栽培者と栽培面積の増加につながり、取扱取量の増大が図れた。 ・ハウス団地を整備したことにより、若い生産者が、初期投資の負担が少なく施設栽培に取り組むことができ、収量の増加につながった。 ・ハウス団地の生産者を含む若手グループでの買取取組を実施しており、出荷量が増加したことにより買取販売を拡大することができた。	計画に沿った適切な進捗管理により、目標の販売額を達成することができた。栽培面積は順調に増加しており、今後も産地の拡大が期待される。	R3評価		
遠野市農業再生協議会	1	青笹	ホップ	高付加価値の新品種の導入および面積拡大	総販売額10%の増加(11.7%の増加)	29	17,660千円	3.89 ha	7.26 t	2,433 円/kg	-	2	19,720千円	8.69 ha	9.05 t	2,179 円/kg	-	2	16,912千円	4.44 ha	6.9 t	2,437 円/kg	-										販売実績データによる。	生産資材の導入を支援したことにより、面積拡大している農業者がいる一方で、産家が供給を理由に離農したことが面積と収穫量の減につながった。新規ホップ株が成長することにより生産量は上昇しているが目標の達成には至らなかった。今後は、ホップ農協と連携し、栽培管理の徹底指導による単収の増及び収穫面積の拡大により目標達成を目指す。	農家の確保が課題であるが、新規株からの確保に取り組み、関係機関と連携して農家の確保を図り、目標達成に向けて取り組んでいく。	※ビール会社との契約のため価格補正なし	R3評価		
遠野市農業再生協議会	2	遠野	施設野菜(パドロン)	① 生産技術高度化施設導入による高年産増・計画生産 ② 国内需要の高化パドロン産地化に向けた安定供給	10aあたりの販売額の10%以上の増加(131.14%の増加)	29	1,455,840 円/10a(露地)	0.3 ha(露地)	3.37 t(露地)	1,296 円/kg	-	2	20,558,571 円/10a	0.7 ha	102.5 t	1,404 円/kg	-	2	3,011,219 円/10a	0.7 ha	13.8 t	1,522 円/kg	-											販売実績データによる。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、急遽販売を切り替えたことにより販売量が計画を大きく下回ったこと、外国人技能実習生が入国できず労働力が不足したことにより目標を達成することができなかった。 今後は、産地協議会として、労働力の確保対策等の情報収集・提供など、早期の目標達成に向けた支援を継続する。	新型コロナウイルス感染症拡大が労働力や販売面において大きく影響した。今後は、関係機関で情報共有しながら異業種連携や雇福連携等による労働力の確保や生産量の増加に向け取り組んでいく。	※市場での取り扱いはないため価格補正なし	R3評価	

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標		現状										目標										実績										スマート農業推進特 導入・定着の取組 の実施内容	地域(県又は国を含む) の価格(販売単価)		補正係 数	価格補正 後の実績	事後評価の検証方法 (※定量的な検証が できること。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考
					年度	面積 単位	生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位	年度	面積 単位	生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位	年度	面積 単位	生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位	年度	面積 単位	生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位	年度	面積 単位	生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位	前年度	目標年度															
																																円/kg	円/kg	円/kg	円/kg	円/kg		円/kg	円/kg							
一関地方農業再生協議会	3	一関市川崎地区	施設野菜(ほうれんそう)	ほうれんそうの産地部産において ① 水田におけるほうれんそうの施設生産(地温管理による規模拡大) ② 機械導入による効率的な生産体制の確立 ③ 周年生産による安定的、継続的な出荷の実現	販売額の10%以上の増加(総販売額) 【75.3%以上の増加】	28	7,427千円	1.11	ha	12.1	t	613	円/kg	-	2	13,014千円	2.26	ha	23.3	t	558	円/kg	-	2	11,530千円	2.28	ha	19.3	t	598	円/kg	-	599	円/kg	539	円/kg	1.111	12,791千円	販売実績データによる。	96.0%	本事業により販売額が増加し、目標を達成した。今後も引き続き取組主体と関係機関が連携し、販売額の増加を目指す。	計画に沿った適切な進捗管理により、目標の販売額を達成することができた。今後も産地の拡大が期待される。	R3評価			
大船渡市農業再生協議会	1	大船渡市全域	施設野菜(トマト)	生産技術高度化施設整備 【取組内容】次の取組を推進し、「高品質・高付加価値トマト」の販売を展開することで、販売額の増加を実現する。 ①周年栽培に対応した生産技術高度化施設の新設 ②ヒートポンプ等省エネルギー機器による低コスト化 ③不霜地気や遮光幕等の助行による高温対策の徹底	販売額の10%以上の増加(636.1%の増加)	27	2,377千円/10a	0.02	ha	823	kg	380	千円	-	(31)32	17,496千円/10a	1.52	ha	525.800	kg	販売額524,880(単価648/324)	千円/円/kg	-	(31)R2	12,485千円/10a	1.5	ha	429.300	kg	販売額167,278(単価436)	千円/円/kg	-	407	円/kg	398	円/kg	1.023	12,765千円/10a(販売額191,468千円※単価446円/kg × 429,300g)	【現状値・目標値の算出方法】 (現状値) 農業者 1戸 作付面積 0.016ha 販売額 380千円 単位面積当たりの販売額 2,377千円/10a ※個別農業者の平成27年度実績を現状値に設定 (目標値) 農業者 27戸 作付面積 3.00ha 販売額 524,880千円 単位面積当たりの販売額 17,496千円/10a 個別農業者は現状維持、新規事業者の販売計画は以下のとおり 面積 3.00ha、単収 30,000kg/10a、単価648円/kg、324円/kg 単位面積当たりの販売額 17,496千円/10a	以下、病害虫対策及び取組により、目標生産量は確保されると期待する。 ○病害虫対策 1.敷地周りに防虫ネットによる除菌及び定期的な除菌剤散布 2.11技術を活用した病害虫報告強化システムの構築 ○収量増加に向けた取組 1.台本を根張りが強くなるものに変更 2.オランダのコンサルによる適次での栽培指導 3.従事者に対する各作業でのポイントとなる作業精度の管理しと、日次作業での管理指導	周年出荷が始まったものの、コロナの被害により減収した。今後は病害虫対策を中心とした栽培管理の徹底や作業精度の向上を図り、目標達成を目指す。	R3評価				